

令和8年9月吉日

これからの学校教育はどう変わる？ ～子どもたちが「自分で考え、未来を切り拓く」新しい学びへ～

稲沢北小学校長 ないとう しんいちろう 内藤 伸一郎

保護者や地域の皆さま、日頃より子どもたちの温かい見守りと本校の教育活動へのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、令和12年度に実施される予定で、全国の学校で教える内容の基準となる「次期学習指導要領」の改定に向けた準備が進んでいます。8月31日に発表された文科省の素案によると、AI（人工知能）が普及するこれからの時代、学校の学びは「知識を暗記する」ことから「学んだ知識を使って自分で考え、人と協力して問題を解決する」ことへと大きく変わっていく、と示されていました（大まかな方向性が示されたに過ぎず、最終決定ではありません）。

そこで、令和12年度に実施予定の次期学習指導要領に向けて、これからの子どもたちがいきいきと成長していけるよう、学校・家庭・地域で大切にしたいポイントをまとめました（本校で既に取り組みつつある内容も含まれます）。

■ 学校で大切にしたいこと

子どもたちの「好き」や「得意」を伸ばし、自ら深く学ぶ力を育てます。

① 「暗記」から「自分で考える」学びへ

- ・ 他者（AIを含む）の答えをそのまま受け入れるのではなく、「本当かな？」と自分で確かめ、自分の意見を理由とともに表現できるような授業をつくります。

② 一人ひとりに合わせた学び

- ・ 学習の進み具合や個性、特性に合わせて、指導方法や工夫を凝らします。タブレット端末なども活用し、子ども自身が自分に合った学び方を選べるようにします。

■ 家庭で大切にしたいこと

ご家庭は、子どもが安心して自分らしさを発揮できる大切な場所です。

① 「好き」「得意」を応援する

- ・ 子どもの興味・関心を受け止め、「何が楽しかった？」と問いかけてみてください。自分の中の「好き」という気持ちが、自ら学ぶ大きな原動力になります。

② 対話のある会話を意識する

- ・ 普段の会話の中で「なぜそう思ったのかな？」と一緒に考える経験を重ねることで、自分の意見を言葉にする力が育ちます。

■ 地域で大切にしたいこと

子どもたちは、地域の豊かな関わりの中で成長していきます。

① 多様な子どもたちを温かく見守る

- ・ 登校の形や得意なこと・苦手なことは子どもによって様々です。多様な特性をもったり、さまざまな事情を抱えたりする全ての子どもが安心して暮らせるよう、地域全体で見守りをお願いいたします。

② 地域の体験や知恵を伝える

- ・ 地域の自然、歴史、お仕事などの実体験は、学校での学びを深める素晴らしいきっかけになります。ぜひ子どもたちに温かいお声がけや体験の機会をご提供ください。

子どもたちが安心して新しい学びに挑戦していけるよう、学校・家庭・地域が手を取り合っていきましょう。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。